

町報

1994  
5月

No.278

# こうふ



山々に

こだまする

ホルンのしらべ

（森の音楽祭ですてきな音楽を聞かせる京都トロンボーングループの皆さんと家族 市民農園カサラファームで）



# わざ見事なプロの技

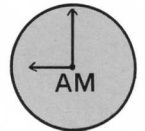


▲慎重にトレーラーの荷台に積載されるランナ(ポンプ水車)

- ◆ ランナ(ポンプ水車)
- ◆ と電力ケーブルを積載し
- ◆ た船は四月二十五日、米
- ◆ 子港に入港しました。
- ◆ ランナ二個(一個当た
- ◆ り四六トン)、電力ケー
- ◆ ブル三個(一個当たり四
- ◆ 三トン)を俣野川発電所
- ◆ までの約三七キロ深夜に
- ◆ 輸送。総重量二二〇トン
- ◆ を大型トレーラー五台に
- ◆ わけて運び、深夜、警備
- ◆ 輸送に一〇〇人が携わり
- ◆ ました。その模様をリポ
- ◆ ートしました。



▲サルベージ船が46トンのランナを荷上げる



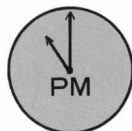
荷上げ作業  
はじまる

四月二十五日、午前九時、山口県からチャーターしたサルベージ(荷上げ作業)船が船から、ランナ、電力ケーブルをそれぞれ荷上げしました。大型トレーラーの荷台には木材が敷かれ、準備完了。クレーンでつられたランナがゆっくりとトレーラーの荷台に。ひとつのランナを荷上げするのに、わずか約三十分。手際よく作業は進む。

ランナ、電力ケーブルの荷上げ作業が終わると輸送を行うための準備が始まった。特に、ランナは直径が四・



▲ランナの点検をする俣野川発電所建設の関係者(米子港)



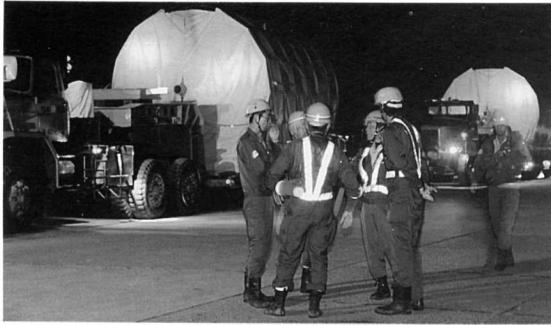
いよいよ  
輸送開始

四月二十六日、午後十一時過ぎ。米子港には、大型トレーラーなどのけたたましいエンジン音が鳴り渡っている。対向車規制車、先導車、パトカーなどを入れると全長約一・四キロの大輸送団。大型トレーラーのナンバープレ

八五メートルあり、通行上の支障があるため特別な荷台をトレーラーに据付け、その上に積載。それぞれに幌をかけた、輸送準備の完了。

# 総重量220トンを運ぶ

▶ 出発前の綿密な打合せ

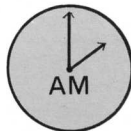


トをみると、「足立」「神戸」「なんば」「香川」「名古屋」と日本中から、集ってきいた。トレーラーの一台の重量が六〇トン。輸送を担当する日本通運には、この大型トレーラーが全国に十二台あるそうですが、その半分(一台は予備)がここに集結していることになる。

そして、輸送開始。ゆっくりと輸送団は時速約二〇キロ(三〇キロで進む。一日目の目的地(溝口町・Aコープ)まで。

大輸送団は、かなりの重量があるため、九号線、一八一号線にかかる橋を補強する必要がある。

大型トレーラーが通過する二〜三時間前に橋の上に鉄骨



10か所の橋  
仮補強する



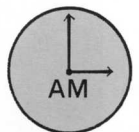
▲手際よく、橋の補強工事が行われる(深夜2時)

を敷きつめ、通行できるように準備する。

大型トレーラーは、一台ずつ、ゆっくりと補強した橋、誘導する係員の指示にしたがつて通過。タイヤと鉄骨の余裕は両側約二〇センチ。脱輪でもすれば、大変なことになります。運転手も、身をのり出して、確認しながら、慎重に進んでいった。



▶ 溝口町で駐車中のトレーラー



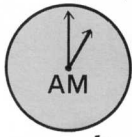
四時間かけて  
溝口町へ

四月二十七日、午前三時過ぎ、米子港を出発して約四時間。第一日目の目的地、溝口町のAコープ駐車場に到着。

あす、四月二十八日、午前一時に俣野川発電所に向けて出発するまで、ここで駐車した。作業に携っていた人々もほっと一息。



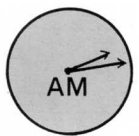
四月二十八日、午前一時、溝口町のAコープを出発。一路、俣野川発電所を目指す。途中、六か所の補強してある橋や道路が狭くなっている所や高低のはげしい所もあり、ベテラン運転手も細心の注意を払いながらの運転が続く。国道へ合流する各支線ごとに、交通整理員が一般車両の安全確保に努める。



さあ!!  
再び出発



江尾橋を渡る電力ケーブルを積載したトレーラー



江尾橋を  
通過

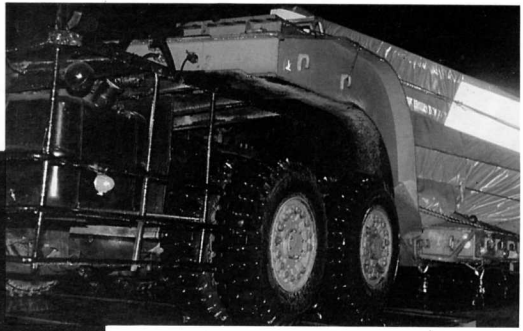
午前二時十分過ぎ、江尾橋附近に輸送団の先頭が到着。ばらばらと降っていた雨が少しずつはげしくなるなかを一台ずつ、誘導をうけながら江尾橋を渡っていく。トレーラーの重さが六〇ト



ゆっくりと慎重にランナを積載したトレーラーが進む

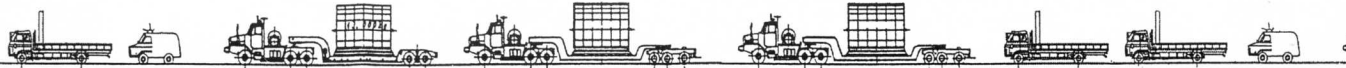
ン、ランナの重さが四六トン、あわせて一〇〇トンをかこえる重量が橋に加わることになる。激しいエンジン音とトレーラーが橋にかかる補強用の鉄骨にのぼるたびに、ガタンという大きな音がする。ものすごい迫力が伝ってくる。5台の大型トレーラーは約三十分近くかかって江尾橋を渡っていった。

次々と補強した橋を渡るトレーラー



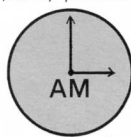
誘導員も、ライトを照らしながら、車の足回りに注意を払う



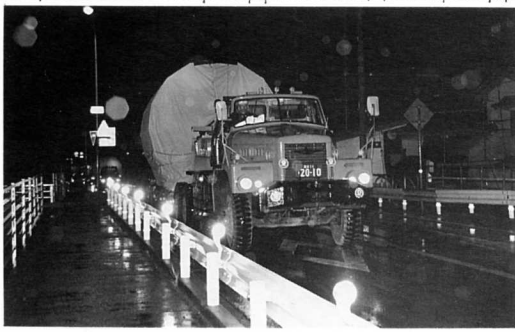


# 小雨降る深夜の国道を

## 安全第一に輸送行っ



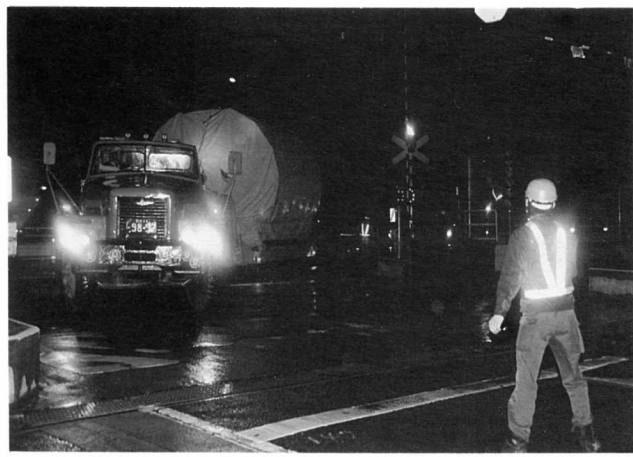
武庫踏切り  
横断



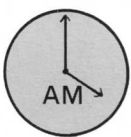
俣野川発電所への最後の難関が武庫踏切。トレーラーの長さは約十六〜十八メートル、高さは三・八〜四・四メートル

▲武庫踏切りに近づくトレーラー(武庫駅前)

ル。見事な誘導と運転手の熟練したハンドルさばきで、その巨体がなんなく、通過していく。まさにプロの妙技。



▲見事なハンドルさばきで横断するトレーラー

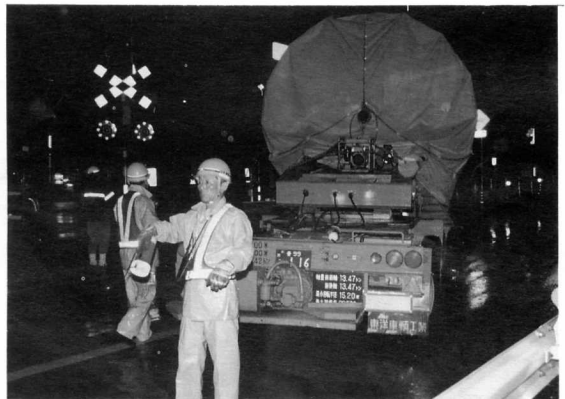


発電所入口  
に到着



▲全長17メートルのトレーラーがくの字になって通過する

目的地の発電所入口に到着したのは、午前四時過ぎ。約米子港から三七キロ。ご苦労さまのひとつにつきる。



次々とトレーラーを誘導する作業員

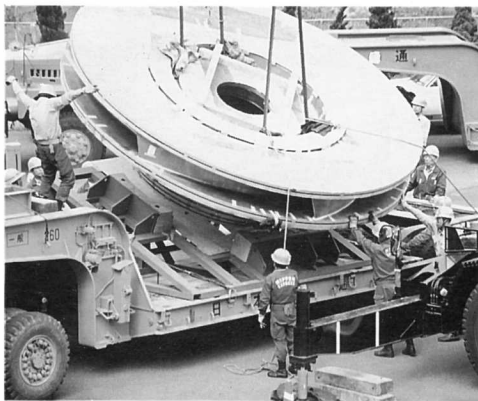
# はんにゅう ランナ いよいよ発電所に搬入



▲ランナを2台のクレーン車がつり上げ、いよいよ作業開始



▲クレーン車のオペレーターも真剣



▲慎重に、ひき上げ作業が行われる



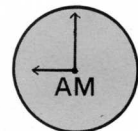
▲ワイヤーの太さは一握り以上



▲ワイヤーをかける作業員



▲見事なハンドルさばきの運転手

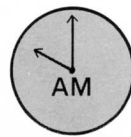


ランナ  
積みかえ

四月二十九日、午前九時、いよいよ、ランナが俣野川発電所のなかに搬入される。まず、大型クレーンが2台、トレーラーに積載されたラン

ナを引き上げ、一旦おろす。次に、トレーラーの荷台にあるランナ専用の荷台をおろした後、再び、ランナをトレーラーに積載する。  
ランナをつり上げるワイヤーは一握り以上もあり、数人かかって、そのワイヤーをかけていく。





ゆっくりと  
発電所へ

積みかえが終ったランナを  
積載したトレーラーが発電所  
のなかへ、ゆっくりと入って  
行く。

◀再び、ランナをトレーラーに



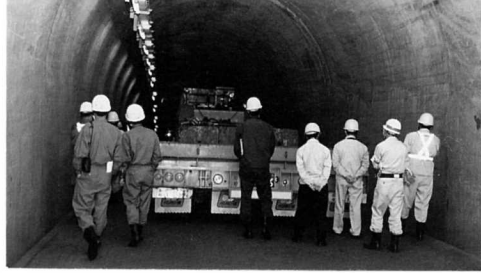
◀トレーラーから荷台をおろす

そのトレーラーのあとにワ  
イヤードつながれたトレーラ  
ーが失速を防ぐため、入って  
行く。人が歩くよりもゆっく  
りした速度での前進。



▲ゆっくりと発電所に入るトレーラー

▼トンネル内をぎりぎりいっぱいに通るトレーラー



集落排水シリーズ③

げすい  
下水はこうして  
きれいになります

＝ 処理場のしくみ ＝

江府中学校の隣接地に完成  
した集落排水の処理場。今、  
平成七年度の供用開始に向け  
て、準備が進められています。  
さて、下水がこの処理場  
どのようにして、きれいにな  
るのか、そのしくみについて  
簡単に説明したいと思えます。

処理場に集められます。

集められた下水は、

まず、大きなゴミを取  
り除く作業が行われ(荒

目スクリーン)、次に

小さなゴミが取り除か  
れます(細目スクリーン)。

ここでは、ゴミに含まれる  
水分を脱水したのち、取り除  
き、焼却処分します。

このようにして、ゴミを取  
り除いたあと、下水をふたつ  
の処水槽に交互に入れて、下  
水をばっ気(下水の中に空気  
を送り、空気にふれさせ、か  
きまぜること)微生物と有機  
物を混合かくはんすることで  
微生物に酸素を補給する)を  
沈殿させながら、バクテリア  
などにより、下水を処理し、  
同時に、窒素、リンなどが取  
り除かれます。



▶完成した集落排水の処理場

そのあと、処理され、きれ  
いになった水に塩素を加えて消  
毒し、日野川へと放流されます。  
このような、しくみで下水  
はきれいになるわけですが、  
この処理場は二十四時間、全  
自動で運転され、日々の点検  
のみで下水処理ができるよう  
に整備されています。

24時間  
全自動で  
運転



▲すべて全自動システム

まず、各家庭などからの下  
水は排水管を通して、この処



▲細目スクリーン槽

# どこでも学ぼう

## 生涯学習システムづくり

今回は、生涯学習とは特別な学習をさしているのではなく、ある人は健康増進のためにスポーツをするとか、自分の趣味を生かして絵を描いて楽しむとか、自分の職業に関係する技術を習うなどして、明るいすてきな人生をおくるための活動全般をさしていることをお知らせしました。

今回は、生涯学習がどのようになつて取り上げられるようになったかお知らせします。

### 〈生涯学習の必要性〉

昭和四十年、ユネスコ（国連教育科学文化機関）での提案を機に「生涯にわたる教育」が各国で取り上げられ、組織的に進められるようになりました。これは、急激に変化していく現代社会によりよく対応していくと生れたもので、以前は無意識におこなっていた学習や活動を、生涯にわたって意識的におこなっていくことです。生涯学習の必要性が高まってきた社会的背景として次のことが考えられます。

- ◎科学技術の進歩
- ◎余暇時間の増大
- ◎学校教育の反省などが上げられています。

### ◎科学技術の進歩について

昭和六十年ごろから普及しはじめたワープロは、最初は持ち運びできるタイプライターとしての機能だけだったものが、当初、予想できなかったほどに進歩して複雑で高度な働きをもつようになつてきました。

身近な機械でもこのようですから、次々と現れる技術革新や新しい知識についていくのは、学校で勉強したことだけでは間に合わなくなり、新たな専門知識や技術を得るのには生涯にわたって学習することが必要になつてきました。また、通信機器のめざましい発達によつて、各種の情報を運び処理する力を養うことや国際交流の活発化に伴つて他文化を理解することも必要となつてきました。

### 「ワンポイント情報」

### 更替



春の日差しもだんだん強くなり、通学する子供たちの制服も、目にさわやかな初夏の装いになつてきました。季節に合わせて衣服を替え

る「更衣」・「衣更」とも書きますが、この習慣は、平安時代、宮中で定着し、旧暦の四月一日と十月一日を更衣の日としていたようですが、当時は四季に応じた衣装はまだなく、下着などで調節したと言われています。江戸時代になると幕府が、四月一日から拾小袖、九月九日から綿入小袖などと定め、人々は四月一日になると綿入を脱ぎ、袷に替え身も心も春の身仕たくをしました。

「四月一日」と書いて「わたぬき」と読む珍しい姓名があります。この更衣の風俗からきたものだということがあります。

## スポーツ大会

☆% 江府町実年ソフトボール大会

☆% 江府町スポーツ少年団ソフトテニス大会

☆% 江府町立運動公園プール開き



## にんじん狩り

四月二十四日、笠良原の畑で町内の小学生二十五人による、にんじん狩りが実施されました。

「にんじんだ!!」と畑を掘る楽しそうな子供たち。

全員でにんじんを洗い、カレーライス作りに挑戦しました。包丁を持つ手もぎこちなく、にんじん、じゃがいも、玉ねぎなどを真剣な表情で刻んでいました。なかには大きいものもあれば、小さいものもありました。

でき上ったカレーライスを全員で試食し、「ぼくが作ったカレーライスだよ」と言つて三杯も食べる子供たちと楽しい一日を過ごしました。

▲取りたてのにんじんを手にする子供たち (8)



# いつでも学ぼう

## 心の栄養は

## 一冊の本から

No.23

図書館だより

江府町立図書館

春の野に すみれ採みにと

来しわれそ 野をなつかし

一夜寝にける 山部 赤人

青葉・若葉の季節となりま  
した。

かたかったつぼみが一斉に  
開き、風さえも薫るこのころ  
ですが、庭先の花壇にも、奥  
深い山の中にも、忘れること  
なく咲いている花を見ると、  
心が和む思いがします。

さて、前回の町報「こうふ  
で平成五年度の貸し出し状況  
をお知らせしましたが、今回  
は図書館はもうかるという話  
題を紹介します。

平成五年度の図書購入費は  
一三〇万円でしたが、これ

八四一冊の図書を購入しまし  
た。一冊当たりの購入額は、

一、五四五円となります。これ  
に貸し出し冊数を掛けると、  
一三、二五三、〇一〇円。つまり

町民の皆様方が図書館をご利用  
いただくことにより、年間  
約一、三〇〇万円強のポケット  
マネーを使うことなく、読書  
をすることができたわけです。

本に親しむことにより知識  
は広がり、心が豊かになり、  
しかも経済的にも得になると  
いう何拍子も揃ったよい話し  
でした。

田の畔にうす紫の小さなス  
ミレがいっぱいに咲いていま  
す。気をつけて歩かないと見  
すごしてしまいそうな野の花  
も、それぞれに顔を持ってい  
ます。赤人のスマレはどんな

顔？なにやら万葉集が好きに  
なりそうです。

緑あふれるよい季節。図書  
館に足をお運び下さい。また  
リクエストがあればお気軽に  
お申し出ください。皆様のお  
いでをお待ちしています。

### ミニギャラリー

篆刻

六月から篆刻による作品を  
展示いたします。

これは、町内木村悦子さん  
の手づくりによるものです。  
ぜひおいで下さい。

幼	劫	努	小篆	印篆	金文	古鉤
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎

※篆刻とは石・金属などに文  
字をほりきざむこと。

### 図書館利用案内

時間 八時五分～十七時十五分  
休館日 毎週月曜日  
貸出 三十日間  
冊数 制限はありません

### ＜新着図書のご紹介＞

- 裸の大將放浪記(一～四) 山下 清 著
- シングル 赤川次郎 著
- 箱庭 内田康夫 著
- 心の航海図 遠藤周作 著
- 花の伝説 深見青山 著
- (心をなごませ、幸せを運んでくれる、素敵な花のお話。)
- 虹の刺客 森村誠一 著
- 男ありて 澤地久枝 著
- 新保守革命 渡辺美智雄 著
- 笑う出産 まついなつき 著 (児童)
- ライオンくんはいばりんぼ
- なごのママずきん
- ゴリラはごりら
- たびにしよう
- クマのプーさん



### ＜今月のおすすめ＞

○ガン再発す 逸見政孝 著

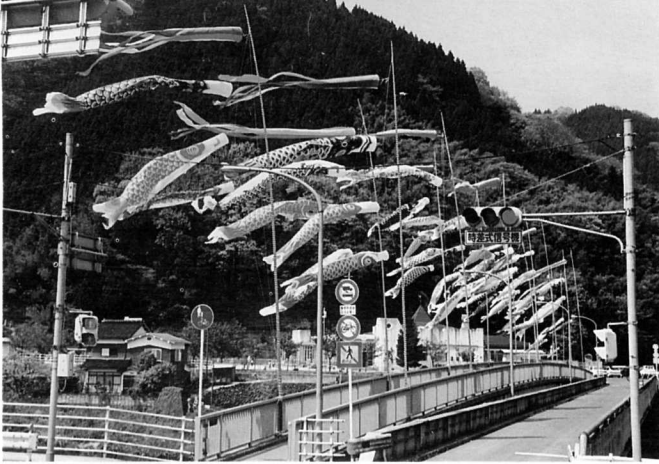
恐しいです。でも生還した  
い……………  
衝撃の告白宣言から始まっ  
たガンとの凄絶な戦いの日々。  
回復の足音から一転……………  
今、ここにガン闘病の真実  
が始まる。

# 日野川に

# およぐこいのぼり

## アユの稚魚も放流

### 江府町愛漁会



▲5月の風に吹かれ、元気よくおよぐこいのぼり(久連橋)

五月の風に吹かれて元氣よく、およぐこいのぼり。今年も、江府町愛漁会の皆さんによるこいのぼりが久連橋と夜振橋にお目見えしました。子供たちもすこやかな成長を願って、上げられたこいのぼり。国道一八一号を行き交う車から、優雅におよぐこいを見つめている人もいました。また、四月二十日に



▲トラックから出される稚魚

は、アユの稚魚三万九千匹が日野川に放流されました。重量にして、一七〇キロ。これは、すべて、日野川で孵化したものです。また、これまでにも、一万五千匹が二回、放流。「ルールを守って、ふるさとの川で楽しんでもらいたいですね」と語る遠藤江府町愛漁会会長。アユの解禁日には多くの釣りファンを楽しませることにしたいと思います。



▲たくさんのアユの稚魚が日野川へ(武庫周辺)

こいのぼりの寄付ありがとうございました

寄付をいただいた皆さん(敬称略)  
 日の詰 加藤延寿、大万 谷口正幸、本五 川上正雄  
 貝田 藤原 登、宮市 後 治美

## 春らしい弁当に ひとり暮らしのお年寄り 大喜び

### 老人福祉センター前

### 野外昼食会



▲桜の下で楽しい昼食会

の皆さんが作った春らしい色彩の弁当に、集まったお年寄りは心から感謝をしながら一品一品を味わっていました。

満開に咲いた桜の下で、手づくりの弁当に舌づつみをつのは、ひとり暮らしのお年寄りの皆さん。これは、江府町社会福祉協議会の事業で行っている配食サービスを今年から年に二回、老人福祉センターに迎え、昼食会を行うことになったもの。ボランティアのグループ「あじさい」



▲「さあ、もう少しででき上がり」と弁当づくりに一生懸命のグループあじさいの皆さん



# 町営住宅 三棟・六戸

## 完成しました

町営住宅がこのたび久連地内に完成しました。

木造二階建の三棟で一階は和室（六畳）、台所、便所など、二階は

洋間と和室があります。

六世帯が入居可能となっており、六月上旬から

入居できるようになっています。



▲完成した町営住宅

## 区長さん

## 1年間

## お世話になります

平成6年度区長会

山村開発センター



▲最年長の松尾区長（本町三丁目）に委嘱状が福田町長から手渡された

四月二十二日、平成六年度の区長会が山村開発センターで行われました。

はじめに、福田町長から、区長として最年長の松尾寛さん（本町三丁目）に委嘱状が手渡されました。

引き続き、福田町長が本年度の方針について説明し、各集落の協力を求めました。

それぞれの課長から詳細な事業説明のあと質疑応答が活発に行われました。

## 江府町消防団、辞令交付式行う

## 新入団員6人

五月十日、江府町消防団の辞令交付式が、役場会議室で行われました。

五月十日、江府町消防団の辞令交付式が、役場会議室で行われました。

新入団員

- 西岡 浩治
- 竹茂 良平
- 末次 義晃
- 長尾 英俊
- 宇田川 晃
- 谷口 博志

力一杯、頑張ってください」と挨拶



▲一人ひとりに辞令が田口団長から手渡される

# お知らせ

## 東京消防庁消防官

### 採用試験案内

- 受験資格  
昭和四十年四月二日から昭和五十二年四月一日までに生まれた男子
- 受験申込期間・申込先  
(郵便申込)  
平成六年七月一日～七月三十一日  
〒100東京都千代田区大手町一丁目三番五号  
東京消防庁人事部人事課採用係
- (持参申込)  
平成六年八月一日、二日  
東京消防庁本部庁舎一階  
(ロビー午前十時～午後四時)
- 第一次試験

(東京)  
平成六年九月二十三日(金)  
(全国十五都市・広島など)  
平成六年九月二十日(火)

#### ● 第二次試験

平成六年十月二十六日、二十七日(試験会場、東京の場合)  
(口述試験、身体、体力検査)  
(平成六年十一月八日、十日は東京以外の試験会場での日程です)

#### ● お問い合わせ

東京消防庁人事部人事課採用係

☎〇三(三三二二)二二一一  
内線四四三四～四四三六  
フリーダイヤル  
〇二〇一―一九一八八二

## 鳥取県職員(大学卒業程度)

### 採用試験案内

- 受験資格  
昭和四十年四月二日から昭和四十八年四月一日までに生まれた人

#### ● 受験申込期間

平成六年五月三十一日まで

#### ● 受験申込先

鳥取県人事委員会事務局  
〒680鳥取市東町一丁目二七二  
県庁第二庁舎五階

☎〇八五七―二六―七五五三

#### ● 第一次試験

平成六年六月二十六日(日)  
(教養試験、専門試験)  
【第一次試験会場】

・鳥取市(県立鳥取西高校)  
・米子市(県立米子西高校)  
・東京都(専修大学神田校舎)

#### ● 第二次試験

平成六年七月二十六日(火)  
・二十七日(水)  
(論文試験、適性検査、面接試験、身体検査)

#### 【第二次試験会場】

・鳥取県庁

#### ● 合格者発表日

(第一次試験合格者)  
平成六年七月十二日(火)  
(最終合格者)  
平成六年八月九日(火)

※受験申込書は役場・総務課にもあります。

## 鳥取県警察官(大学卒業程度)

### 採用試験案内

- 受験資格  
昭和四十二年四月二日から昭和四十八年四月一日までに生まれた男子
- 受験申込期限・申込先  
平成六年六月三十日まで  
鳥取県人事委員会事務局  
〒680鳥取市東町一丁目二七二  
県庁第二庁舎五階
- ☎〇八五七―二六―七五五三
- 第一次試験  
平成六年七月十日(日)  
(教養試験、専門試験)  
【第一次試験会場】
- ・鳥取市(県庁・講堂)
- ・米子市(西部総合事務所・講堂)
- 第二次試験  
平成六年八月二十五日(木)  
・二十六日(水)  
(論文試験、適性検査、面接試験、身体検査)
- 【第二次試験会場】
- ・鳥取県庁
- 採用予定者数  
二人
- 合格者発表日  
(第一次試験合格者)

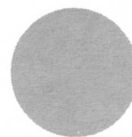
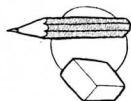
平成六年八月九日(火)  
(最終合格者)  
平成六年九月九日(金)  
※受験申込書は役場・総務課にもあります。

## 消防器の訪問販売

### 「ご用心!!」

最近、消防器の訪問販売で言葉たくみに、薬剤の詰め替えなど、市場価格の四～五倍の代金を請求する悪質な業者がいます。  
例えば、次のような手口で近寄ってきます。  
「消防署に報告しなければなりませんので、消防器の点検に参りました」、「依頼を受けて点検に参りました」などです。

一旦、契約書にサインして消防器の詰め替えを行った場合、民法上の契約が成立しますので、ご注意ください。  
また、各事業所としては、



通常契約している点検業者を明確にしておいてください。

## 給与所得者に係る 平成六年分所得税

### 特別減税

今回、「平成六年分所得税の特別減税のための臨時措置法」が施行され、平成六年分の所得税について特別減税が実施されることになりました。給与所得者（「給与所得者の扶養控除等申告書」の提出者に限る）に対して、次の方法により特別減税が実施されます。

【源泉徴収義務者の方へのお願い】

● 徴収高計算書（納付書）には、必ず特別減税の還付実績を記入してください。

● なお、還付後の納付税額がない場合でも、納付書は必ず税務署へ提出してください。● 特別減税の還付を六月に実

施せず、七月以降に行う場合には、「夏期給与特別減税額の還付承認申請書」を六月十五日までに税務署へ提出する必要があります。

区分	特別減税額	還付等の方法
夏期給与特別減税額	〔平成6年1月から6月の間の源泉徴収税額の合計額〕 (100万円が限度) × 20%	給与の支払者から原則として6月に還付を受ける。
年調給与特別減税額	〔年末調整によって算出した年税額〕 〔夏期給与特別減税額がある場合には当該金額を控除〕 (年間の減税額は200万円が限度) × 20%	給与の支払者から年末調整時に控除を受ける。

### 町部落差別撤廃と

あらゆる差別をなくする

### 条例制定

三月議会において、「江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」が制定されました。

この条例は、日本国憲法の理念と同和対策審議会答申の精神に基づき、町の責務、町民の責務として、町民一人ひとりの参加により部落差別撤廃とあらゆる差別をなくし、人権意識を高めるとともに、平和な明るい地域社会の実現をめざすものです。差別のない地域社会をつくるために、互いに考え、行動しましょう。

### 北村英治ライブショー

5月30日・日南町

日南邑・みどりの館

中国山地沿の一市十四町村で発足した「中国山地県境町村連絡協議会」では、このたび、日本を代表するジャズクラリネット奏者の北村英治さんを迎えて、演奏会を行いますので、ご参加ください。

● お問い合わせ

日南町役場企画課八二一―二一

## 行事あれこれ

5月・6月

※会議などによっては、場所・時間などが変更になることもありますので、ご確認ください。

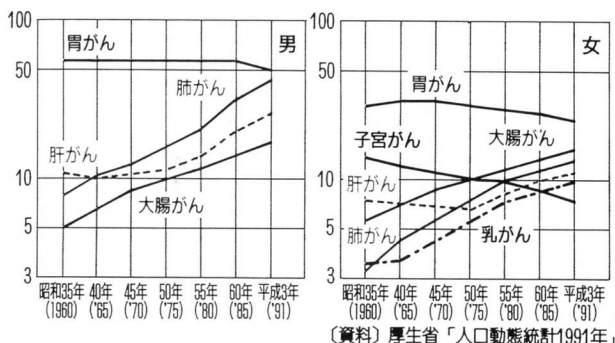
日付	行事内容	日付	行事内容
5/23(月)		5/29(日)	第5回町職域対抗ソフトテニス大会
24(火)	町同和教育推進協議会総会(9:00) 山村開発センター	30(月)	
25(水)		31(火)	
26(木)	臨時議会(9:30) 奥大山の水工場竣工式(11:00)	6/1(水)	人権擁護委員の日
27(金)		2(木)	
28(土)		3(金)	町ゲートボール大会



## ★ 増えているがん、減っているがん

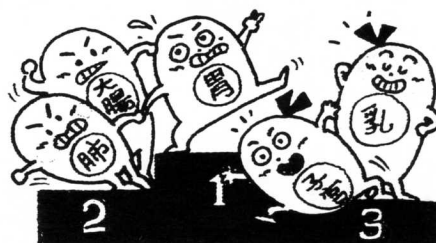
死亡率ではあいかわらず胃がんが第1位を占めていますが、胃がんや子宮がんは、検診の普及などで年々減少傾向にあります。かわって肺がん、大腸がん、乳がんは、急速に増えています。食生活の欧米化に伴い、高脂肪、高たんぱく質の食品が多くなり、食物繊維の摂取量が減ったことなどが原因とみられています。

### ■ がん死亡率(人口10万対)の推移



# がんを寄せつけない生活を

がんは、初期の頃にはほとんど自覚症状がないため、気づかぬうちに進行している場合が多い怖い病気です。がんを予防するには、がんを寄せつけない生活習慣の確立と、定期的に検診を受け早期発見に努めることが大切です。



## がん予防の12か条 (国立がんセンター提唱)

### 1 バランスのとれた栄養をとる

偏食せず、あらゆる食品を食べる。



### 7 塩辛いものは少なめに、熱いものはさましてから辛いものや熱いものは、胃がんを招きやすい。



### 2 毎日変化のある食生活を同じ食品ばかりでワンパターンにならないように。



### 8 焦げた部分は避ける 焦げた部分には発がん性がある。

### 3 食べ過ぎを避け、脂肪は控えめに

腹八分目を守り、肉より魚を多くにとる食生活を。



### 9 カビの生えたものに要注意

カビには発がん物質が含まれているものがある。



### 4 お酒はほどほどに 日本酒なら1日1合、週1回は休肝日を。



### 10 日光に当たり過ぎない 強い紫外線は皮膚がんの誘因となる。

### 5 タバコは少なくする

できるだけ禁煙を。飲酒時の喫煙は特に避ける。



### 11 適度にスポーツする 適度な運動で毎日いい汗を。



### 6 適量のビタミンと繊維質のものを多くとる 食物繊維は大腸がんの予防に。



### 12 体を清潔に こまめにシャワーを浴びるなど清潔習慣を。

# 人の動き

4月届

## お誕生

### おめでどう

(住所) (出生児) (保護者(続柄))  
 本五 澤田 拓 興誠二男  
 柿原 加藤 鴻実 愛敬二女  
 本五 川上 美紀 新一二女

## ご結婚

### おめでどう

國谷 友則 米子市  
 河上 博江 宮市から  
 村上 浩二 江尾  
 山田 里美 名和町から

白石 威志 江尾  
 岡崎 美雪 米子市から

奥田 伸一 柿原  
 田中 良枝 山口県吉敷郡から

村上 史郎 兵庫県西脇市  
 大岩美佐子 下蚊屋から

奥田 律 米子市  
 段塚 照美 久連から

中澤 圭一 米子市  
 吉岡 末子 江尾から

田本 博人 杉谷  
 宇田川章子 米子市から

増田 幸男 名古屋市  
 下垣 裕子 美用から

池田 俊弘 日野町  
 藤原 清香 俣野から

## ごめい福を 祈ります

(住所) (氏名) (年齢) (世帯主)  
 本一 堀田トラノ 80歳 正人  
 池の内 加藤 安雄 77歳 本人

下蚊屋 梅田とよの 93歳 菊治

下安井 三輪 専一 87歳 辰夫

貝田 森田 貞子 68歳 一郎

新二 遠藤 明子 70歳 本人

白住 高橋 熊市 86歳 本人

## 平成6年4月届

前月比	
世帯数	1,252世帯(+14)
人口	4,538人(-1)
男	2,174人(-4)
女	2,364人(+3)

## 編集後記

▼緑の広がる高原に、さわやかに響くアルプスホルンの音色。澄み渡たる青空にとけ込んでいくように。

表紙に掲載した写真には、実はドラマがあった。偶然カサラフームに訪れていた京都トロンボーングループの皆さんにテレビ撮影のため、急きょお願いしたのも。前日、なんとか簡単な

## 6月1日

### 人権擁護委員法が 施行された日です

人権は、人間が平和に生きていく上で、最も大切な権利です。

日本国憲法が制定され、基本的人権の尊重はその柱でもあります。

昭和二十三年にまず、政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌年、六月一日に人権擁護委員法が施行されました。

国民の基本的人権を擁護し見守るといふ、いわば民間人

## 訂正

町報こうふ四月号の八ページに役場職員の名前が間違っていましたので、次のとおり訂正します。

○農林振興課長 大床明則  
 ○国民宿舎甘酒茶屋 業務員 柴田 務

曲でも演奏していただきたいと懇願。「うーん」とうなっていたメンバー。そのひとり「ほな、やりますわ」とひとこと。一夜にして、曲をつくってくださいました。プロでしかできないわざ。演奏終わって「あー、しんど」と、安堵の笑顔に。感謝、感謝。

▼ランナなど輸送の一瞬を撮影しようとして深夜、米子市のある位置で輸送団を待つ。空にはきれいな月。行き交う車の九割近くがタクシーと代行。犬が近づいて来た。こんな時間に人がいるなんてと遠まきにして家路を急ぐ。一時間が経過。もしかしてと資料をみて、血気が引いた。やっぱり、通過ルートをまちがえていた。深夜の取材は時間を確認してやらなければと痛感。



## 元気で～す ② ヤング

### 休みの日は 友だちといっしょに 買物にいきます

江府技研コンサルタント勤務 森田<sup>ふみか</sup>文香<sup>さん</sup>(22歳)

- \*こちらにつとめて何年ですか？  
つとめて4年目になります。
- \*行ってみたい所は？  
外国ではないけれど、北海道に行ってみたいです。広い所をながめてみたいです。
- \*趣味は？  
特にありませんが、休日に友だちといっしょに買物に行くことです。
- \*好きな男性のタイプは？  
男らしくて、スポーツ万能で、やさしくて、ストレートヘアの人です。(ちょっぴり欲ばりかなあ)
- \*町にのぞみたいことは？  
ブームのスポーツ(サッカーなど)ができる場所があればと思いますし、チロルの里のメインの所をつくってほしいですね。



みなから「<sup>ぶん</sup>ちゃん」と呼ばれる職場のアイドル森田さん

はきはきした受け答えが、スポーツマンらしく  
さわやかな篠田さん

## 中学校ソフトテニス 全国優勝させたい

江府町商工会勤務 篠田<sup>たかし</sup>貴士<sup>さん</sup>(22歳)

- \*行ってみたい所は？  
外国に行ってみたいです。特に韓国。
- \*今、やっていることは？  
江府中の船越先生からたのまれて、昨年からは中学校のソフトテニスのコーチをやっています。なんとしても、全国優勝させたいですね。
- また、町消防団(第1分団)の操法メンバーですので、今年も、頑張りたいと思います。
- \*好きな女性のタイプは？  
特にないです。
- \*町にのぞむことは？  
若者が遊べる所があればと思います。

